



佐藤 仁志 議員
無会派

問 弥富駅の橋上化は誰のためか

答 目的は自由通路の整備

図表 25 推計パターン1による年齢3区分別人口と高齢化率



▲弥富市人口ビジョン(平成28年2月)

問 商業娯楽施設の集積がないまま何を連携するのかが。

答 (建設部長) 駅を中心とした南北地区の連携。

問 住民はJR・名鉄弥富駅よりも近鉄弥富駅の北側の整備を望んでいるが。

答 にぎわいのあるまちづくりを目指す。

問 バリアフリーは鉄道事業者の努力義務。駅構内エレベーターの補助で達成可能だが。

答 自由通路は南北の連携強化が目的。

問 投資効果、事業費回収を検討すべき、回収計画は。

答 都市拠点の機能強化を図り、住宅用地の供給や商業機能の充実などを図る計画。

問 将来負担額について、内容と金額を示さないのか。

答 工事協定締結時に、年度ごとの事業費を示す。

問 駅の利用実態の調査と分析がされていないのでは。

答 桑名方面、蟹江方面から津島方面への乗り換えは一日あたり580人。

問 46億円は市民一人当たり10万円の事業、市民に納得のいく説明を。

答 総合計画、都市計画マスタープランなどで駅前整備が求められている。

問 計画の精査・長寿命化を先に

答 関係課で連携し計画的に進める

問 総合計画の進捗管理として、投資的経費を精査していく手法は。

答 (総務部長) 事業評価シートを活用。

問 企画政策課と財政課が連携して、投資的経費の優先順位の精査を。

答 調整しながら進めている。

問 市内の小中学校の老朽化による修繕の状況は。

答 (教育部長) 修繕費予算は757万9千円。教育環境の維持に努める。

問 長寿命化によるメリットは。

答 国庫補助対象事業で、3分の1の補助。補助対象外でも有利な起債が発行できる。

問 長寿命化にあたり、防災対策と連携すべきでは。

答 学校は災害時に避難所となる施設、防災課と連携できる部分は調整して進める。

問 職員にどのような研修を行っているのか。

答 (健康福祉部長) それぞれの課で必要な専門研修を行っている。

問 職場の中でどのような人材育成を行っているのか。

答 目標を設定し、時代に適応した専門知識や課題解決能力を有する担い手の育成を行っている。

問 定期的なヒアリングを行っているか。

答 行っている。

問 本人の意向を尊重し納得のいく人員配置を。

答 モチベーションの維持に努める。



▲小学校の修繕工事